

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【 人文科学研究科 心理学専攻 博士後期課程 】
試験科目 【 専門試験 心理学 】

【出題意図】

心理学を学問として実践的に理解するために、研究方法論に関する基礎的知識を踏まえて実験計画の妥当性や限界を批判的に検討する力と、心理学の主要領域にわたる概念を的確な専門用語で簡潔に説明する力を総合的に評価する。

I. 以下の2つの設問の中から1つを選び、問題文にしたがって解答しなさい。

①心理的困難Aには、B・C・Dという3つが原因として関与していると考えられている。このとき、この3つの要因がAにそれぞれどの程度関与しているか検討するための研究計画を立てなさい。その際、使用する分析方法についても具体的に述べなさい。

②ある研究では、課題遂行における背景音楽のテンポ効果を検討するために、「オリジナルのテンポ」「遅いテンポ」「速いテンポ」の3条件を設定した。実験デザインは、同一参加者が別日に割り当てられた3条件すべてに参加する被験者内計画(within-subjects design)とした。

最初の参加日は必ずオリジナル楽曲条件とし、2回目・3回目は遅いテンポ条件と速いテンポ条件を割り当て、これら二つの条件については参加順序をカウンターバランスした。しかし、3回目まで参加できない者が多く、結果として「速いテンポ条件への参加者が少ない」「遅いテンポ条件も欠損者が出た」という状況になったため、研究者は足りない条件にのみ新規参加者を追加してデータを補った。

〔問〕上記の実験方法における方法論上の問題点・妥当性への影響を、具体的に説明しなさい。

【 】(←選択した問題番号をかきなさい)

【出題意図】

- ・被験者内計画の条件(全条件同一参加者)を理解しているか
- ・被験者脱落によるバイアスを説明できるか
- ・新規参加者投入により「被験者内+被験者間の混在」になる問題に気づけるか
- ・初回が必ずオリジナル条件であることによる順序効果の混入を指摘できるか
- ・結果解釈の妥当性が損なわれる理由を論じられるか

【解答例】

本研究には、複数の方法論上の問題がある。

第1に、オリジナル条件を必ず初回に実施したことによる順序効果の混入である。

被験者内計画では、条件の順序を均等化しなければ、学習効果、慣れ、緊張の低減など「参加回数に伴う変化」が特定の条件に結びついてしまう。本研究では、オリジナル条件が常に1回目となるため、他条件との差異がテンポの効果なのか、単に「初回と2・3回目の違い」なのか区別できない。

第2に、参加者の脱落(attrition)によるデータ欠損が、被験者内計画の前提を崩している点である。本来、被験者内計画では同一の参加者が全条件を経験することが必要だが、本研究では2条件のみ参加した者が多数存在し、3条件を完了した参加者が少数になっている。これにより、条件比較における個人内統制が失われ、統計分析が困難になる。さらに、脱落者と継続者の特性が異なる場合、結果に体系的なバイアスが生じ得る。

第3に、不足条件にのみ新規参加者を追加したことにより、デザインが「被験者内」と「被験者間」の混在となった点である。速いテンポ条件と遅いテンポ条件は、新規参加者を多く含む一方で、オリジナル条件は初期の参加者に限定される。このように、特定の条件が特定の参加者群に偏ることで、条件差がテンポの効果ではなく、参加者群の違い(個人差)を反映してしまう危険が高い。

第4に、条件実施の時期・スケジュールの偏りも条件と混同される可能性がある。3回目まで参加できない者が多いということは、速いテンポ条件や遅いテンポ条件が特定の時期・時間帯に偏って実施されたことを意味し、疲労、課題への慣れ、学期スケジュールなど外的要因が条件差として現れてしまう可能性がある。

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

以上より、本研究のデザインには、順序効果、参加者脱落、被験者内統制の喪失、被験者群の不均質性といった問題が複数存在し、テンポの効果を純粋に検討することが著しく困難になっている。

Ⅱ. 以下の2つの設問の中から2つ選び、問題文にしたがって解答しなさい。

① 心理療法における共通因子(Common Factors)について説明し、それぞれの心理療法に固有の治療技法(特定因子:Specific Factors)との関係について論じなさい。

② 測定における信頼性と妥当性について説明し、それらの関係性について述べなさい。

【 】(←選択した問題番号をかきなさい)

【①:解答に求められる要素・評価のポイント】

- ・共通因子について定義を明確にしていること。
- ・治療同盟, 共感的理解, 受容, 誠実さ, 期待や希望, 治療構造などのキーワードを用いて共通因子を具体的に説明されていること。
- ・特定因子として, 治療技法(解釈・認知再構成法など)を具体的に取り上げ, 共通因子との関係性について論理的に説明されていること。

【②:解答に求められる要素・評価のポイント】

信頼性 「信頼性」は測定の一貫性・安定性(何度測っても同じような結果が出るか)誤差が少なく、繰り返し測定しても同じような結果が得られること。例えば、ダーツで毎回同じ場所に当たる(中心からズレていても)状態。確かめる方法として、再検査法(安定性)、クロンバックの α 係数(内的整合性)などがある。

妥当性 「妥当性」は測定の的確性・適切性(測りたいものを正しく測れているか)測定しようとしている概念を、本当に測定できているか。例えば、ダーツで的の中心(狙い)を射ている状態。確かめる方法として、内容的妥当性、基準関連妥当性、構成概念妥当性などがある。

関係性 信頼性が高くても妥当性が高いとは限らず、高い妥当性は高い信頼性を内包する。

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

Ⅲ. 以下の設問から5つを選び、その用語について簡潔に説明しなさい。

- ①リバウンド効果(シロクマ効果)
- ②逆境的小児期体験
- ③洞察志向的心理療法
- ④社会的絆理論
- ⑤刺激性制御
- ⑥カクテルパーティ現象
- ⑦アタッチメント
- ⑧活動電位
- ⑨集団思考
- ⑩サイコパシー

【解答に求められる要素・解答例】

- ① 心理学者ウェグナーは、シロクマの映像を見せた後に「シロクマのことを考えないように」と教示する実験を行った。その結果、思考を抑制しようとするほど頻りにシロクマのことを考えてしまうことを見いだした。このように、特定の思考を抑えようとする努力が、かえってその対象を強く意識させてしまう皮肉な逆転現象をリバウンド効果と呼ぶ。
- ② 逆境的小児期体験(Adverse Childhood Experiences)は ACE とも略され、子ども時代に経験する虐待やネグレクト、家族の精神疾患、貧困 などの強いストレスやトラウマとなる体験を指します。これらの体験は成人後の心身の健康問題、失業や貧困、社会的孤立といった生涯にわたる様々なリスクを高めることが研究で示されています。
- ③ 苦しみの背景にある無意識的葛藤を治療的対話を通して自覚し、深い自己理解を得ることで症状改善や人格的成長を目指す心理療法。精神分析に代表され、本人の「気づき」による内的変容を重視する。
- ④ 人がなぜ犯罪・非行を犯さないのか、という独自の視点を持つ理論であり、家族や学校や友人など愛着を感じる相手の期待に沿おうとする感情的な絆であるアタッチメント、社会で承認された目標達成に関わる意識的な絆であるコミットメント、慣習的な活動に積極的に参加し、犯罪・非行に陥る時間がないほど忙しくしている状態であるインボルブメント、法を正当なものとし、それを遵守しようとする内的な信念であるビリーフなどの社会的絆が弱まると、逸脱行動が起きやすくなるとされる。
- ⑤ ある行動が、特定の刺激の存在・不在によって生じやすくなったり、抑制されたりする状態を指す。
- ⑥ 多数の音や会話が同時に存在する騒がしい環境でも、特定の話者の声や自分にとって重要な情報だけを選択的に聞き取ることができる現象。
- ⑦ 乳幼児が養育者(主に母親などの主要な保護者)に対して形成する、情緒的に強い結びつきを指す心理学概念。
- ⑧ 活動電位とは、神経細胞の膜電位が閾値を超えたときに生じる、脱分極から再分極へと至る一連の電気的変化であり、神経情報伝達の基本単位である。
- ⑨ 集団思考とは、強い凝集性をもつ集団において、合意形成を急ぐ過程で異論や代替案の検討が抑えられ、意思決定の質が低下する現象である。
- ⑩ サイコパシーとは、感情的共感や良心の欠如、対人操作性、衝動性を中核とする人格特性であり、必ずしも犯罪行為を伴うとは限らない。

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

Ⅳ.以下の文の空欄に適する語をそれぞれ下のa～dの中から選び、()の中に記号を書き入れなさい。

① (a)では、感情が意志決定に影響を与えるメカニズムを説明している。

(a)ソマティック・マーカー仮説 (b) キヤノン・バード説 (c) 表情フィードバック仮説 (d) ジェームズ・ランゲ説

② レジリエンスには(b)なものだけでなく、獲得的なものも含まれる。

(a) 学習的 (b) 資質的 (c) 社会的 (d) 個人的

③ 2022年(令和4年)施行の改正少年法では、18歳・19歳の扱いについて(b)は、含まれなかった。

(a) 原則逆送対象事件の拡大
(b) 家庭裁判所への全件送致主義の改訂
(c) 一部実名報道の解禁
(d) 特定少年として特例規定を設ける

④ (a)とは、医師と心理師が役割を分担しながらも、患者に協同でアプローチする治療法をいう。

(a) A-T スプリット (b) 治療的アライアンス (c) 補完的役割 (d) リソース・マネジメント

⑤ 自閉スペクトラム症の人は、(d)という目標達成に向けて思考や行動を調整する機能に困難を抱えることが多い。

(a)象徴機能 (b)コミュニケーション機能 (c)社会的機能 (d)実行機能

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【 人文科学研究科 心理学専攻 博士後期課程 】
試験科目 【 外国語試験 英語 】

【出題意図】

専門的な英語文献の正確な読解力や専門用語の運用能力に加え、英語論文執筆や抄録作成に必要な英語能力を測ることを目的とする。

I. 以下の英文を 150 字以上 300 字以内の和文で要約しなさい。

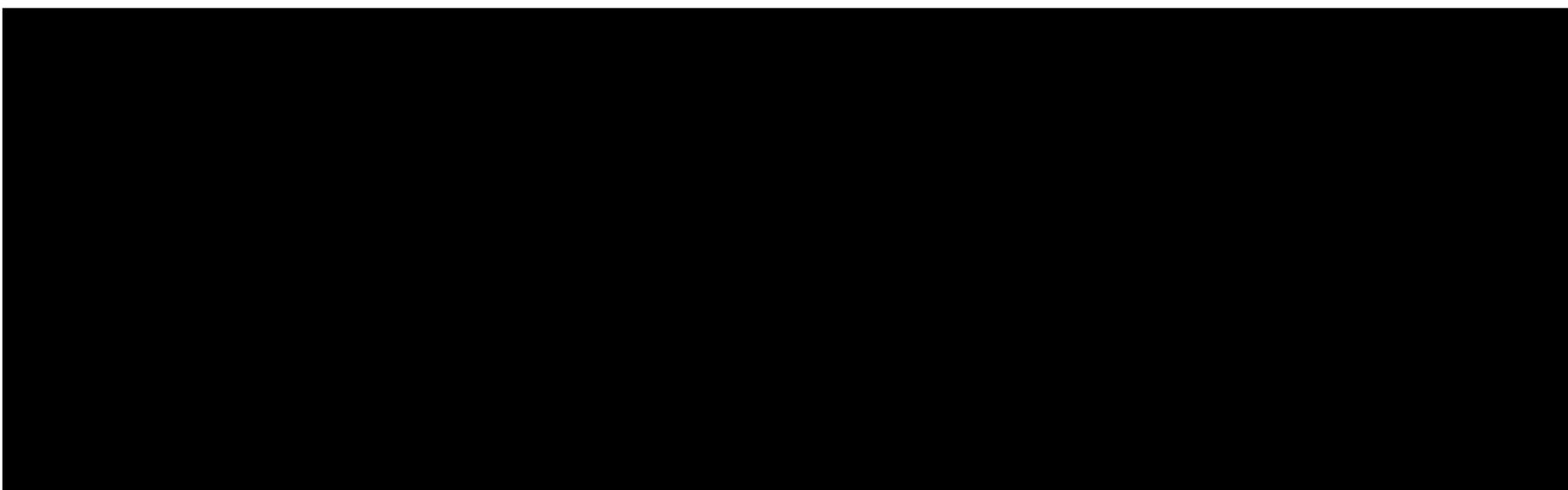


出典：Elliott, R., Bohart, A. C., Watson, J. C., & Greenberg, L. S. (2011). Empathy. In J. Norcross (Ed.), *Psychotherapy relationships that work* (2nd ed., 132–152). New York: Oxford University を一部改

【解答のポイント・採点基準】

- ・指定字数であること。
- ・3つのモードについて、それぞれの意味と特徴を適切にまとめていること。
- ・定訳が確立していない学術用語（例、person empathy）については、文脈に即した妥当な訳語であれば減点しない。
- ・日本語として適切であること。

II. 以下の英文を日本語に訳しなさい。



《出典》

Howitt, D. and Cramer, D. (2011) Introduction to Research Methods in Psychology. 3rd Edition, Pearson Education Limited.

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

【解答例】

Ⅲ. 以下の(1)~(4)の文の()の中にもっとも適する語句をそれぞれ下の(a)~(d)の中から選び、その記号を()内に書きなさい。

(1) Studying to avoid a bad grade is an example of (b).

(a) positive conditioning (b) negative reinforcement (c) avoidance conditioning (d) respondent conditioning

(2) (c) is an aversion or distaste for a particular taste or smell that was associated with a negative reaction.

(a) Hawthorne Effect (b) Dunning-Kruger Effect (c) Garcia Effect (e) Flavor Effect

(3) The extinction procedure induces an (c), which is a temporary explosive increase in the behavior being extinguished.

(a) behavioral experiment (b) spontaneous recovery (c) extinction burst (d) extinction-induced variability

(4) (a) memory is defined as a type of long-term memory that operates unconsciously and without intentional effort.

(a) Implicit (b) Sensory (c) Working (d) Semantic

Ⅳ. 以下の日本語を英語に直しなさい。

(1) 2つの条件間では、強化を得るのに必要な反応数が異なっていた。

【解答例】

The number of responses required to obtain reinforcement differed between the two conditions.

(2) 実験の前に、実験者は実験参加者に同意書を書いてもらう必要がある。

【解答例】

Before the experiment, the researcher must obtain written informed consent from the participants.

2026 年度 駒澤大学大学院 2 月 入学試験問題及び解答例

(3) この尺度の短縮版は、オリジナルの尺度と強い相関があるととも、十分な内的一貫性も示された。

【解答例】

The short-form version of this scale showed a strong correlation with the original scale and also demonstrated sufficient internal consistency.

(4) この論文には、カウンセリングの実践に適用できる基本的な臨床心理学の理論と介入法が紹介されている。

【解答例】

In this article, foundational positive psychological theories and interventions that apply to the practice of counseling are introduced.